

緑化センター みにがいど No.1

県下の オオモミジの巨木

緑化センターの本館前にある大きなもみじは、「オオモミジ」というカエデの一種です。

このオオモミジは帝釈峠近くにあったもので県道拡幅に伴って伐採される予定でした。

たまたま緑化センターの建設を担当していた職員が見つかり、譲り受けて移植したものです。約1年半の根廻し養生の上、30トントレーンで吊り下げトラックに載せて緑化センターまで運ばれました。

現在、この樹がオオモミジでは広島県内最大の巨樹とされています。

このほか、同時に移植されたオオモミジは本館や学習展示館の付近に4本あります。

写真 02.10.22 撮影



オオモミジ カエデ科

宮島などに植栽されているイロハモミジの変種で、山地の谷間などによく自生している。イロハモミジよりも大きく、掌状に7~9つに裂ける。

山に生えるので「ヤマモミジ」とも呼ばれることがあるが、分類上の「ヤマモミジ」は別の種で、こちらは広島県では自生していないとされています。

参考 広島県の巨木 滝口進著
広島県植物誌 中国新聞社

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス